

CDP から気候変動分野での最高評価を獲得 「Climate Change A List 2019」

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本克弘）は、CDPにより、地球環境問題への対応と戦略において特に優れた活動を行っている企業として、気候変動分野における最高評価の「Aリスト企業」に4年連続で選定されましたのでお知らせします。

CDPは、運用資産総額96兆米ドルに達する世界の525以上の機関投資家と、購買力規模で3.6兆米ドルに達する125の購買企業を代表し、企業の環境に関する取り組みの情報を収集、評価している国際的なNGOです。2019年には、世界の8,400社以上の企業がCDPを通じて環境情報を公開しています。

ナブテスコは、2016年12月に2030年と2050年までのCO₂排出削減の長期目標を策定しました。徹底した省エネ活動をグローバルに展開し、高効率な設備の導入・更新、最新の環境技術を採用した工場建屋の新築・建て替え等を通じて、CO₂削減にグループ一丸となって取り組んでいます。

今後もナブテスコは、持続可能な社会の実現に向けて、環境・社会の諸課題の解決に取り組む、さまざまな活動を推進してまいります。



以上

(参考)気候変動Aリストの一覧とスコアは下記URLよりご確認ください。

<https://www.cdp.net/en/companies/companies-scores>